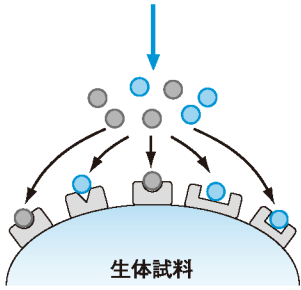
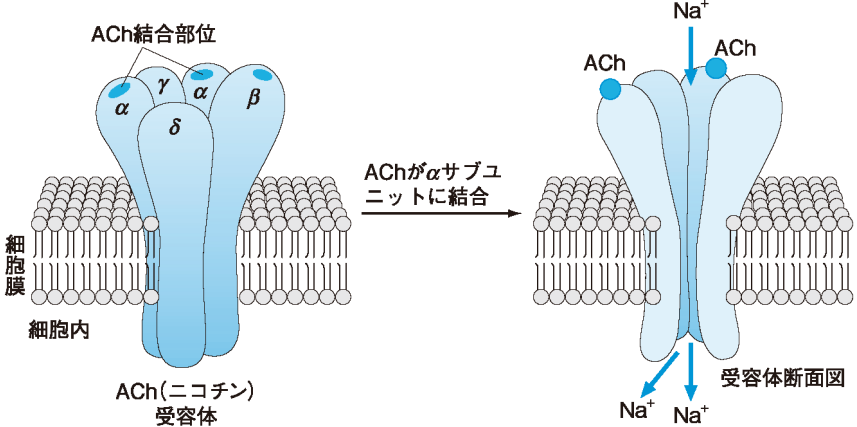
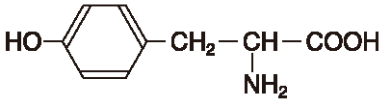


正 誤 表

「コンパス薬理学（第1版第1刷）」

下記の箇所の誤植訂正ならびに情報の更新をいたします。

頁	該当箇所	誤	正
6	図1・5 実験2の図	<p data-bbox="581 491 898 518">図差し替え</p> <div data-bbox="581 546 898 948"><p data-bbox="697 557 794 584">実験 2</p><p data-bbox="614 607 898 659">非放射性リガンド(高濃度)●と 標識放射性リガンド●</p><p data-bbox="707 916 792 943">生体試料</p></div>	

9	図 1・10	図差し替え 	
73	5 行	消化器系（悪心・嘔吐など）	消化器系（悪心・嘔吐，食欲不振など）
93	表 4・15 薬物名 ↑ 6 行	フルラゼパム	フルトプラゼパム
94	構造式名 下から 2 段目，右から 2 番目	フルラゼパム	フルトプラゼパム
109	図 5・7 チロシンの構造式（最上段）	構造式差し替え	
120	16～17 行	β_1 受容体刺激や交感神経終末の D_2 受容体刺激によるノルアドレナリン遊離により	β_1 受容体刺激により
123	↑ 5, ↑ 2 行	MAO _B	MAO
123	↑ 3 行	MAO _B 阻害薬（セレギリン）服用時	MAO 阻害薬服用時
125	図 15・15（図中 3 ヲ所）	MAO _B	MAO
143	図 5・28 中の表 最左列	交感神経興奮	副交感神経興奮

148	図 5・28 中の表 最左列	副交感神経興奮	副交感神経抑制																																											
168	↑10行	ニコチン N _M 受容体	ニコチン N _N 受容体																																											
203	表 7・6	<p>図差し替え</p> <p style="text-align: center;">表 7・6 成人における血圧値の分類</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="2">収縮期血圧 (mmHg)</th> <th colspan="2">拡張期血圧 (mmHg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">正常域血圧</td> <td>至適血圧</td> <td>< 120</td> <td>かつ</td> <td>< 80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正常血圧</td> <td>120 ~ 129</td> <td>かつ / または</td> <td>80 ~ 84</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正常高値血圧</td> <td>130 ~ 139</td> <td>かつ / または</td> <td>85 ~ 89</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高血圧</td> <td>I 度高血圧</td> <td>140 ~ 159</td> <td>かつ / または</td> <td>90 ~ 99</td> <td></td> </tr> <tr> <td>II 度高血圧</td> <td>160 ~ 179</td> <td>かつ / または</td> <td>100 ~ 109</td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 度高血圧</td> <td>≥ 180</td> <td>かつ / または</td> <td>≥ 110</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(孤立性)収縮期高血圧</td> <td>≥ 140</td> <td>かつ</td> <td>< 90</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(日本高血圧学会：高血圧治療ガイドライン 2014)</p>		分類		収縮期血圧 (mmHg)		拡張期血圧 (mmHg)		正常域血圧	至適血圧	< 120	かつ	< 80		正常血圧	120 ~ 129	かつ / または	80 ~ 84		正常高値血圧	130 ~ 139	かつ / または	85 ~ 89		高血圧	I 度高血圧	140 ~ 159	かつ / または	90 ~ 99		II 度高血圧	160 ~ 179	かつ / または	100 ~ 109		III 度高血圧	≥ 180	かつ / または	≥ 110		(孤立性)収縮期高血圧	≥ 140	かつ	< 90	
分類		収縮期血圧 (mmHg)		拡張期血圧 (mmHg)																																										
正常域血圧	至適血圧	< 120	かつ	< 80																																										
	正常血圧	120 ~ 129	かつ / または	80 ~ 84																																										
	正常高値血圧	130 ~ 139	かつ / または	85 ~ 89																																										
高血圧	I 度高血圧	140 ~ 159	かつ / または	90 ~ 99																																										
	II 度高血圧	160 ~ 179	かつ / または	100 ~ 109																																										
	III 度高血圧	≥ 180	かつ / または	≥ 110																																										
	(孤立性)収縮期高血圧	≥ 140	かつ	< 90																																										
206	頁左下 *14	p. 194 参照	p. 195 参照																																											
219	↑10行	合成鎮痛薬	合成麻薬性鎮痛薬																																											
219	↑9~↑7行	鎮咳作用はコデインの 1/2 である。鎮痛作用，呼吸抑制作用や嗜癖 <small>しへき</small> などの麻薬としての	耐性や依存性など麻薬としての																																											
222	↑7行	$\beta_2 \geq \beta_1$	$\beta_2 > \beta_1$																																											
243	↑15行	レボチロキシシン	(青文字とする)																																											
243	↑15行	リオチロニン	(青文字とする)																																											
243	↑9行	バセドー (Basedow) 病	バセドウ (Basedow) 病																																											
243	↑7~↑6行	チオグロブリン	チログロブリン																																											
243	↑4行	バセドー病	バセドウ病																																											
244	4, 7行, ポイント 1行	バセドー病	バセドウ病																																											

図 9・6

図差し替え

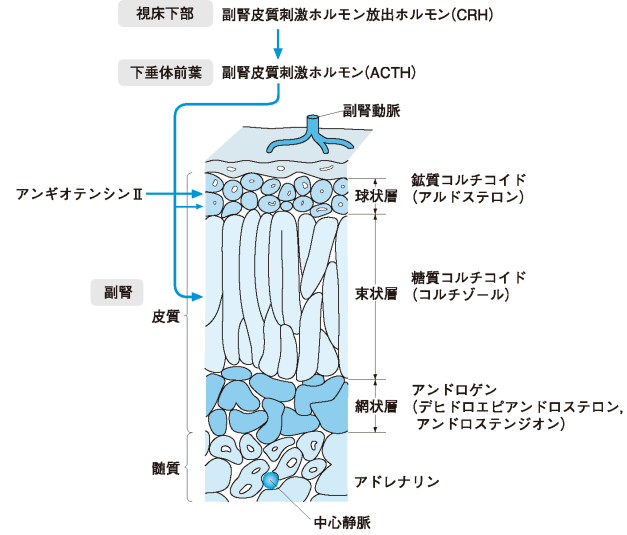
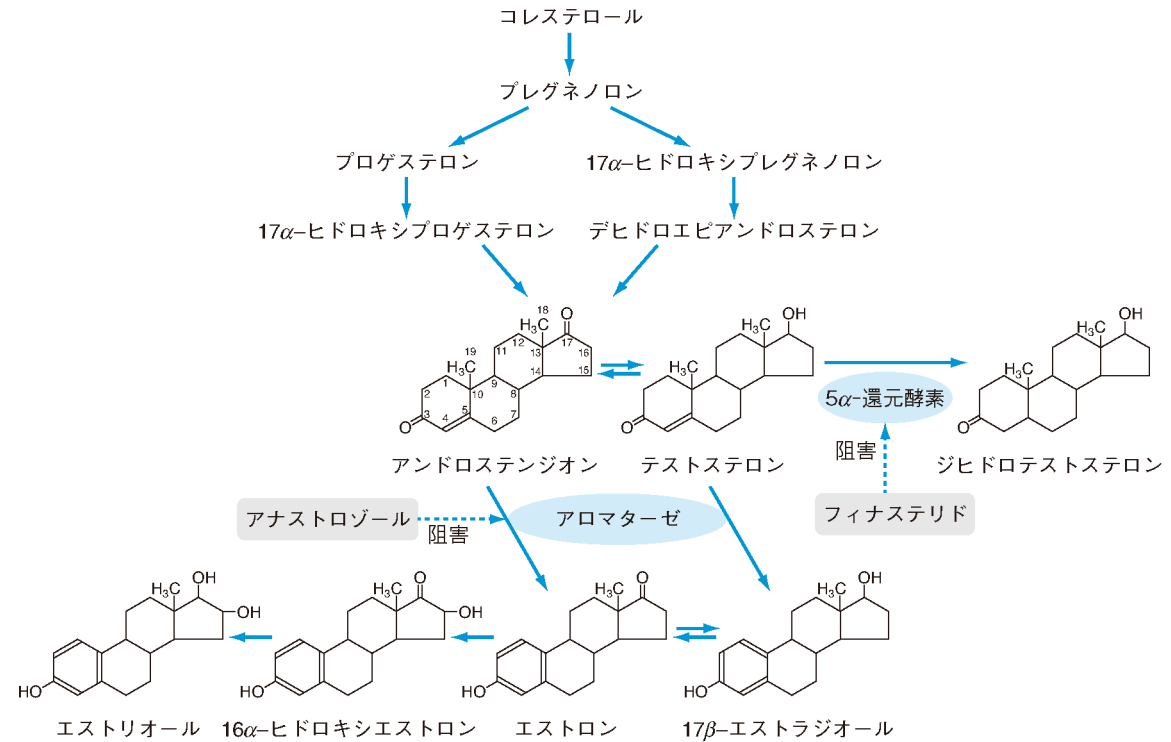


図 9・6 副腎皮質ホルモンの生成部位

図9・12

図差し替え

254



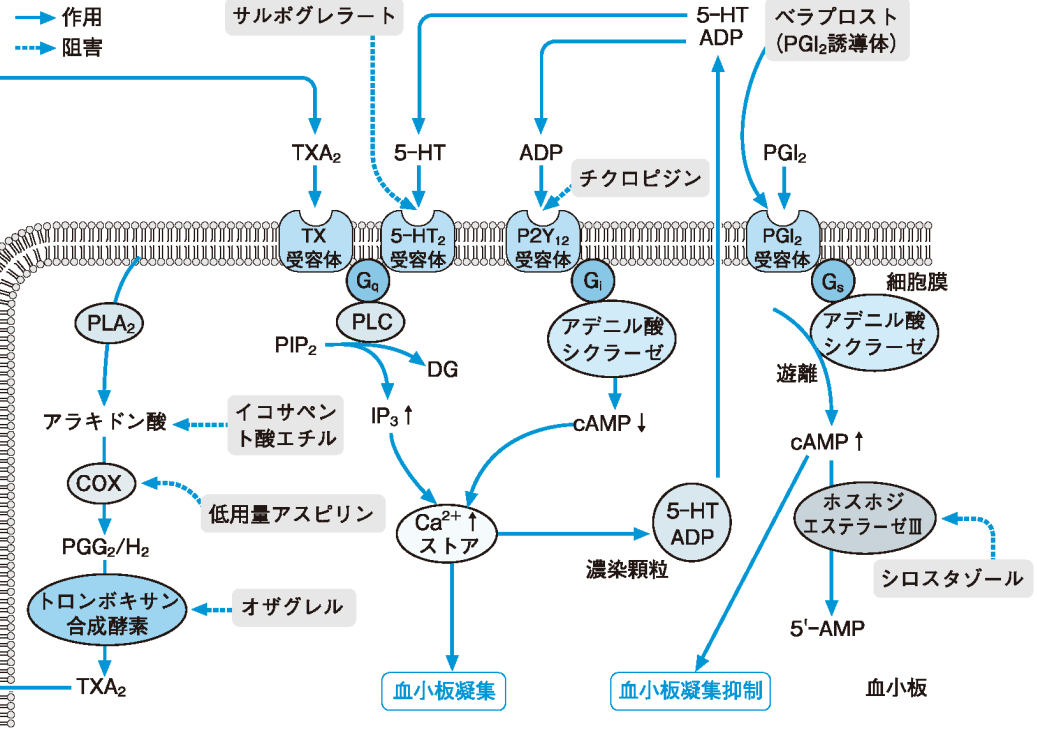
258	↑4行	5 α -還元酵素 (レダクターゼ)	5 α -還元酵素 (レダクターゼ) II型
260	↑6行	小腸からの Ca ²⁺ 吸収量	Ca ²⁺ の再吸収量
262	13行	ビタミンD ₃	ビタミンD ₃ 受容体
267	頁右上 *2	鎮痛薬	鎮痙薬
268	↑11行	透析患者	腎透析患者
269	3行	透析患者	腎透析患者

272	図 10・4	図差し替え	<p>The diagram illustrates the parasympathetic nerve terminal (副交感神経節後線維終末) and its interaction with the digestive tract smooth muscle (消化管平滑筋). The terminal contains 5-HT₃ and 5-HT₄ receptors, and D₂ and μ receptors. ACh is released from the terminal, which binds to M₃ receptors on the smooth muscle. The diagram shows that stimulation of 5-HT₄ receptors (by Mosapride) and μ receptors (by Lorazepam) promotes ACh release (遊離促進), while stimulation of 5-HT₃ receptors (by Mosapride) and D₂ receptors (by Domperidone/Metoclopramide) inhibits ACh release (遊離抑制). Dopamine (ドパミン) is shown to block D₂ receptors (遮断).</p>	
279	図 10・5 ③	迷走神経	求心性迷走神経	
280	14 行	セロトニン 5-HT ₃ 受容体	弱いセロトニン 5-HT ₃ 受容体	
282	7 行	伸長と停止を	伸長停止作用を	
	↑ 15, ↑ 5 行	グリチルリチン	グリチルリチン酸	

289	<p>図 11・2</p>	<p>図差し替え</p> <p>糸球体</p> <p>近位尿細管</p> <p>下行脚</p> <p>ヘンレ係蹄</p> <p>上行脚</p> <p>遠位尿細管</p> <p>集合管</p> <p>皮質</p> <p>髄質</p> <p>Na^+, Cl^-</p> <p>Na^+, H^+</p> <p>Na^+, Cl^-</p> <p>H_2O</p> <p>Na^+, Cl^-</p> <p>Na^+, K^+, 2Cl^-</p> <p>Na^+, K^+, 2Cl^-</p> <p>Na^+, Cl^-</p> <p>Na^+</p> <p>K^+</p> <p>アルドステロンが関与 ⑥</p>	
293	↑2～↑1行	抗アンドロゲン作用により女性化乳房, 性欲減退などをきたすことがある.	男性では抗アンドロゲン作用による性欲減退, エストロゲン作用による女性化乳房などがみられる.
297	↑3行	5-HT	5-HT

図 12・5

図差し替え



303	↑ 6 行	非可逆的	不可逆的
304	15 行	PGI ₂ 受容体	PGI ₂ 受容体 (プロスタノイド IP 受容体)
306	6~7 行	凝固因子である. プロトロンビン	凝固因子であるプロトロンビン
308	図 12・6 右上	フィブリン分解産物 (出血傾向)	フィブリノーゲン分解産物 (出血傾向)
308	図 12・6 右上	フィブリン (血栓)	フィブリノーゲン
308	↑ 4 行	発症後 3 時間以内	発症後 4.5 時間以内
311	11~12 行	悪性貧血は改善するが, 神経症状は改善しない.	悪性貧血と神経症状を改善することができる.

311	12～13 行	悪化する	悪化することがある
311	13～14 行	進むためといわれる	進むためといわれている
313	3 行	⑥溶血性貧血	⑥溶血性貧血治療薬
313	16 行	抗悪性腫瘍薬・再生不良性貧血	抗悪性腫瘍薬投与，再生不良性貧血
313	22 行	G-CSF・GM-CSF	G-CSF や GM-CSF
316	↑8, ↑7 行	GLUT2	GLUT4
318	9 行	最も強力かつ	強力かつ
318	↑2 行	溶血性貧血*2 など	溶血性貧血*2, 無顆粒球症など
320	21 行	ペルオキシソーム増殖活性化受容体	ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体
324	12 行	ペルオキシソーム増殖活性化受容体	ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体
325	↑6 行	デキストラン硫酸ナトリウムイオウ	デキストラン硫酸エステルナトリウムイオウ
332	頁左上 エチドロン酸二ナトリウムの構造式	構造式差し替え	$ \begin{array}{c} \text{OH} \\ \\ \text{O}=\text{P}-\text{ONa} \\ \\ \text{H}_3\text{C}-\text{C}-\text{OH} \\ \\ \text{O}=\text{P}-\text{ONa} \\ \\ \text{OH} \end{array} $

338	図 14・3	<p>図差し替え</p> <p>正常細胞</p> <p>アラキドン酸 → PGG₂ → PGH₂ → PGE₂ → 胃酸分泌抑制, 胃粘膜保護作用 PGI₂ → 腎血流量増大, 血小板凝集阻害 TXA₂ → 血小板凝集促進</p> <p>↓ COX-1</p> <p>↑ 阻害 NSAIDs</p> <p>↓ 阻害</p> <p>炎症細胞</p> <p>アラキドン酸 → PGG₂ → PGH₂ → PGE₂, PGI₂ → 炎症症状 (発赤, 熱感, 腫脹, 疼痛)</p> <p>↓ COX-2</p> <p>↑ 阻害 COX-2 選択的 NSAIDs (エトドラク, メロキシカム, セレコキシブ)</p>	
339	図 14・4 タイトル, 本文 10 行	非可逆的	不可逆的
339	↑ 3 行	凝集を促進	凝集を抑制
339	↑ 2 行	凝集を阻害	凝集を促進
347	↑ 2 行	TNF-α 受容体の免疫グロブリン	TNF-α 受容体と免疫グロブリン
347	↑ 2~↑ 1 行	タンパク質である.	タンパク質製剤である.
348	図 14・5 図説①, ②	TNF-α 抗体	TNF-α